

間となった。

その後子供たちは深い緑のなか  
に青々と張られたブルーの中で歓  
声を上げたり、板張りの細い廊下  
でかけっこをしたり、スイカ割り  
をして、真っ赤に熟れたご馳走を  
ほおばった。眞子さんがリードし  
てハヤシライスを作り共に食卓を  
囲む夕食のひとつも皆の楽しみ  
だった。真っ暗闇での花火は子供  
たちの最大の楽しみ。子供が寝静  
まった後のワインの夕べは大人た  
ちの最大の楽しみ。

翌朝は小さな木造の礼拝堂で子  
供たちが主体となって礼拝を献げ  
た。この夏、私たちは神さまの一  
家族として楽しい思い出をひとつ  
作った。世代や世帯を超えた魂の  
交流が出来る素晴らしい機会、来  
年も沢山の参加者があることを願  
う。

## 聖歌隊

### 夏合宿のご報告

今年で四十六回目を迎える聖  
歌隊の夏合宿が八月二十四日から  
二十七日まで軽井沢で行われまし  
た。様々な理由から少数精鋭の参  
加になりましたが、初めてケビン先

生をお迎えし、また、コンサートの  
前日にはシヨール記念礼拝堂での結  
婚式へ参列してケルビムソングを新  
郎新婦にプレゼントするなど、例年  
に無い新しい経験をした思い出深  
い合宿となりました。二十六日日  
曜日の司式もたまたま主教巡回日  
にあたり、中部教区のペテロ渋沢一  
郎主教がお見えになりました。

シヨール記念礼拝堂のテモテ土井宏  
純司祭、上田聖ミカエル及諸天使  
教会のヨセフ下原太助司祭、それ  
にわれらがケビン・シーバー司祭を  
加え、なんと礼拝堂に四名もの牧  
師が集結するという稀にみるゴー  
ジヤスな聖餐式を体験しました。

さて、肝心のミニコンサートです  
が、今年ではエリザベス二世女王陛下  
の在位六十年に当るため、転じてエ  
リザベス一世の時代であるチュー  
ダー朝からエリザベス朝のアンセム  
を選んで演奏しました。なにぶん  
各パート人数が少なかつたため非  
常に緊張を強いるステージでした。  
特にアンコールで取り組んだ武満  
徹作曲の「小さな空」は、合唱曲と  
しては広く知られた名曲ですが、  
聖歌隊にあつては日ごろ触れない  
ハーモニのため、四苦八苦した隊  
員も少なくなくかつた様子です。まっ

たく、こんなにアンコール曲の練習  
に時間をかけた合宿も珍しいこと  
でした。

ちなみに渋沢先生と一緒にみえ  
た御奥様は立教大学聖歌隊のOG  
で、ルカの聖歌隊に在籍されことも  
ある由。「きつと厳しいチェックが  
入っているに違いない」と、どこか  
戦々恐々の様子の立教関係者を尻  
目に、演奏後の打上げパーティでは  
全員縁もゆかりもない大学卒業生  
による立教の第二応援歌「セント  
ポール・ウィル・シャイン」で歓迎の  
意を示しました。わざわざ楽譜  
を探して私に下さった故・関武矩隊  
長は苦笑されているかもしれませ  
んが、きつと後輩のウクレレ&ハワイ  
アンダンスの名演には目を細めて喜  
んでいらつしやつたことと思います  
(たぶん)。

N M



余興にも全力投球

## 受洗と百の歌に寄せて

ペルペトウア 望月夏子

この少し珍しいラテン語の教名は、  
レクイエムの入祭唱「絶えざる」光で  
照らしたまえという箇所が馴染みの  
言葉である。日本聖公会では三世紀  
に複数の受洗者と共に殉教したカル  
タゴの貴婦人で、「殉教者パペチュア  
と仲間たち」と英語読みで記念日  
を覚える。いつも聖歌隊の仲間たち  
と共に、と、上田憲明司祭が考えて  
下さった。

入隊より八年間も受洗を待った  
最大の理由は、隊員として成すべき  
課題多く、困難を極めたことに尽き  
る。できないことは約束できない  
……神様より何れお許しとご指示  
があるはずと信じ、黙々と練習と奉  
唱を続けてきた日々の果てに、とう  
とうこれ以上考えられない程の理想  
的な機会を授かった。殊に私が長年  
敬愛し、人工透析の身を押し付けて教父  
を勤めて下さった声楽家の鈴木雪夫  
氏には、感謝の言葉が追いつくもの  
はない。

念願叶った陪餐の御聖体は悲しい  
ほどの儚さで舌に消えた。その幽き  
御肉に対し、御血の芳醇な力強さは  
どうだろう！ 二つの象徴的な対比  
の感動を私は生涯忘れまい。

覚えたアンセムのレパートリーは偶  
然ながら百曲を数えた。そう、全て  
のものは主の賜物。これからも仲間  
たちと御心に叶うよう歌い続けて  
ゆきたい。